

行財政改革実施計画（第二次集中改革プラン）5年間の実績

将来にわたって安定したまちづくりを進めていくために必要不可欠な行財政改革。平成23年から平成27年までの5年間で17億円の行政効果を目標とした「第二次集中改革プラン」では目標額を上回る効果を達成することができました。今後も健全な財政運営を進めていくために、さらなる行財政改革に取り組んでいきます。

■第二次集中改革プラン実績額 23億1,889万5千円

「最小の経費で最大の効果を挙げる」という自治体の基本原則に立ち返り、行財政運営の効率化や地方分権に対応する行政の実現を図るために、行政基盤の強化が必要不可欠です。

宮若市では、平成18年度に「宮若市行財政改革大綱」を定め、この大綱に基づき平成18年度に策定した宮若市行財政改革実施計画「第一次集中改革プラン」に引き続き、平成23年度から平成27年度までの5年間の計画期間とする宮若市行財政改革実施計画「第二次集中改革プラン」を策定し、間段のない行財政改革に取り組んできました。

この計画では、大綱に掲げる三つの基本方針を柱として、民間委託等の推進や人件費の削減、市税等の収納率向上及び滞納対策の強化並びにふるさと納税の啓発など全54項目にわたる取組を掲げ、約17億円の財政効果をあげることを目標に取組をすすめた結果、目標を上回る23億1,889万5千円の財政効果をあげることができました。

■「第二次集中改革プラン」実績額の内訳（平成23年度～27年度）

●基本方針1【行政運営の効率化】

実施計画	項目数	財政効果目標額	財政効果実績額
事務事業の見直し	6	2,990万円	2,560万5千円
民間委託の推進	3	1億5,250万円	1億5,061万6千円
組織・機構の見直し	2	(目標設定なし)	-
定員管理の適正化	1	10億6,000万円	15億1,545万8千円
特別職給与の見直し	1	-	1,477万6千円
計	13	12億4,240万円	17億645万5千円

※歳出削減による財政効果額 17億645万5千円

●基本方針2【健全な財政基盤の確立】

実施計画	項目数	財政効果目標額	財政効果実績額
財産活用による収入確保	3	5,170万円	7,557万7千円
財産の運用	2	2,020万円	9,348万8千円
自主財源確保の推進	3	3,090万円	3,095万5千円
収納率の向上、滞納対策の強化	8	1億2,110万円	2億2,068万円
経常経費の削減	1	7,500万円	230万7千円
公共工事の適正化	2	8,300万円	4,379万3千円
公営企業等の運営	8	6,850万円	9,907万3千円
地方公社の健全運営	1	(目標設定なし)	-
一部事務組合の運営	2	(目標設定なし)	-
計	30	4億5,040万円	5億6,587万3千円

※歳出削減による財政効果額 9,062万円

※歳入増加による財政効果額 4億7,525万3千円

●基本方針3【効率的な住民サービスの向上】

実施計画	項目数	財政効果目標額	財政効果実績額
指定管理者制度の推進	1	(目標設定なし)	-
電子自治体の推進	2	(目標設定なし)	-
協働のまちづくりの推進	8	1,000万円	4,656万7千円
計	11	1,000万円	4,656万7千円

※歳出削減による財政効果額 4,656万7千円